

Press Release

津田塾大学に 教育機関向けポートフォリオシステム「manaバ フォリオ」を導入

株式会社朝日ネット(東証一部、本社:東京都中央区、代表取締役社長:山本公哉)は、津田塾大学に教育機関向けポートフォリオシステム「manaバ フォリオ」を導入いただきました。

平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」において、津田塾大学の取組「社会貢献は書く力とプロジェクトの推進力から一ライティングセンターと学生主導型プロジェクトを両輪とするリーダーシップ養成プログラム」が採択されました。

この取組を支援するツールとして、朝日ネットのポートフォリオシステム「manaバ フォリオ」が採用されました。



*** ポートフォリオとは?**

ポートフォリオとは、個人の学習成果や記録、評価をファイルしたものです。学生がポートフォリオを見直すことで自身の学習をふりかえったり、教員・スタッフがポートフォリオを参照しながら学生を指導することもできます。このような学習/教育方法が近年注目を集めています。

教育機関向けポートフォリオシステム「manaba folio(manaバ フォリオ)」

manaba folio(manaバ フォリオ)は、学習の成果をポートフォリオに貯めることができるので、学生自身が自分の提出課題等をふりかえったり、学生同士で評価しあったりすることができる全く新しいシステムです。

「manaba folio(manaバ フォリオ)」の詳細はこちらをご覧ください。

<http://manaba.jp/about-folio.html>

「manaba folio(マナバ フォリオ)」を導入されている、 津田塾大学の本取組の背景と目的

『社会貢献は書く力とプロジェクト推進力から』とは：

津田塾大学は、平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に採択された「社会貢献は書く力とプロジェクト推進力から」の取組により、「リーダーシップを発揮する女性人材の育成」を目指し、「ライティングセンター」と「学生主導型プロジェクト」を両輪とした実践的総合キャリア教育を推進します。

特長は、日本語力の中でも、とりわけ「書く力」に裏打されたコミュニケーション能力の強化とこの能力の実践の場となる学生主導型プロジェクトの企画と運営の実体験を通じたリーダーシップスキルの養成を目指す点にあります。この融合によって一層の人間力向上を図り、多様な場面に対応できるコミュニケーション能力とプロジェクト推進力に優れ、国内外の現代的ニーズに対応できるオールラウンドな人材育成を目標としています。

『社会貢献は書く力とプロジェクト推進力から』の具体的取組：

「ライティングセンター」では、実際に学生が作成した文章をもとに、センターの専任スタッフが学生とともに問題点や解決策を考えていきます。自らの意思、思考、論理、感性を書き言葉で表現できるライティングスキルを養成することは、キャリア教育の根源に立ち返ることであります。日本語力、とりわけ「書く力」は、正課で履修する全科目に影響を与えるとともに、交渉力や発表力などすべてのコミュニケーション能力に通じる人間力の基礎になると考えています。

「学生主導型プロジェクト」は、学年や学科を超え、学生が一から企画・実行するものです。国内外で活躍する卒業生らを招いて講演会や座談会などを開いたり、さまざまなイベントを実施したりします。独自のプロジェクトを仲間たちと協力して実現し、成功に導いたという達成感を実際に味わうことがリーダーシップの養成には不可欠です。本取組によって、学生は社会との関係をより具体的に把握し、大学という場で学ぶこととキャリアとの関連を豊かに想像することが可能となります。

自ら推進するプロジェクトで、社会人基礎力や責任感も鍛えられます。また、第一線で活躍するプロフェッショナルから様々な知識を得ることで、「日本語力」が向上するだけでなく、自分たちの能力が社会で活かされる意義を認識できるようになるでしょう。プロジェクトの経験は、将来リーダーシップを発揮する機会にもつながるものと期待されています。

津田塾大学はこの取組の成果を全学でFD(Faculty Development)に活用し、将来的には女性リーダー育成のキャリア教育体系を構築していきます。

学生とライティングセンター専任スタッフをつなぐ「マナバ フォリオ」：

「マナバ フォリオ」は、Webブラウザで利用するポートフォリオシステムです。学生一人ひとりにポートフォリオを収納するスペースを提供し、学生が作成した企画書や報告書、レポートなどを収納します。各ファイルに様々な閲覧権限の設定が可能で、学生、スタッフ、教員がコメントを記入することができます。また、グループでディスカッションや情報共有ができるコミュニティの機能もついています。

津田塾大学では、この「マナバ フォリオ」を「マイライティングポッド」と称して運用します。

<活用例>

「学生主導型プロジェクト」に応募した学生のグループは、ライティングセンターの専任スタッフの指導を受けながら企画書を作成します。企画書がまとまると、「マナバ フォリオ」を利用して大学に提出し、プロジェクトを実行します。プロジェクト終了後、学生グループは再び、ライティングセンターの指導を受けながら報告書をまとめ、提出します。

これまでのプロジェクトでの活動内容は「マナバ フォリオ」のコミュニティ機能を用いて、学内に向けて公開しています。新たに企画に参加する学生もその内容を知ることができます。

また、ライティングセンターは、「学生主導型プロジェクト」以外でも、授業の課題やレポートなどについても対応し指導をしています。受けた相談内容や指導履歴を、「マナバ フォリオ」内に蓄積し、スタッフ間でそれらの情報を共有し、学生に対してよりきめ細やかな指導を行うことを目指しています。



津田塾大学 概要

学校名： 津田塾大学

URL： <http://www.tsuda.ac.jp/ja/>

設立： 1900年(明治33年)

学長： 飯野 正子

所在地： 東京都小平市津田町2-1-1

学生数： 2,826人(2009年5月1日現在)

特色：

西暦1900年(明治33年)、「男性と協力して対等に力を発揮できる自立した女性の育成」をめざし、津田梅子により津田塾大学の前身である女子英学塾が創設されました。

- ・教育には優れた教員と意欲ある学生の存在が大切であること。
- ・学生の個性を尊重するために、少人数教育を重視すること。
- ・高い専門性を習得し、広い教養を身につけること。

津田梅子が開校式の式辞で語ったこれらのことは、109年経った現在もほとんどかわることなく津田塾大学の教育理念として受け継がれています。この理念のもと、社会のさまざまな分野で活躍する卒業生は、本学の誇りとするところです。

2010年、津田塾大学は創立110周年を迎えます。「多文化」「国際協力」「メディアスタディーズ」など、既存の学問領域にとらわれない新たな学びの分野を拓くことで、21世紀の複雑で多様化するニーズに応え、グローバルに、ローカルに、勇気と情熱、志を持って社会に貢献できる人材の育成をこれからも続けていきます。

